

学生の皆さんへ

学生部長

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえた行動について

近畿大学は、新型コロナウイルス感染が国内外で拡大している現状に鑑み、令和2年4月3日（金）から5月6日（水・祝）まで、学生・大学院生のキャンパスへの立ち入りを原則的に禁止しております（医学部を除く）。しかしながら、折角キャンパスを閉鎖しても、皆さん一人一人が「密閉、密集、密接」を避ける行動をキャンパス外でもらえなければ、感染拡大を防ぐ効果は期待できません。

キャンパス閉鎖期間中の皆さんの正しい行動が、皆さん自身や皆さんのご家族、そして、大切な人たちの生命を守るために必要不可欠であることを強く認識してください。

つきましては、次のとおり学生の皆さんの健康管理と、日々の行動に関する留意事項を示しますので、良く理解して確実に実行して下さい。

1. 学生の居住について

新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み、現在居住している場所（アパート等を含む）に待機して、不要不急の外出を避け、健康管理を徹底して生活してください。

しかし、自室に引きこもる必要はありません。天気の良い日は窓を開けて換気をし、一人で、あるいは距離を取って家族などと2・3人で、散歩やランニング、公園でのストレッチ運動などをして下さい。屋外で他人とすれ違う程度で、感染する心配はありません。

買い物に出る場合、家族と少人数で外食する場合は、公共交通機関や混雑した街中は避け、マスクを正しく装着して、帰宅後は直ちに、ハンドソープなどを使って良く手洗いをして下さい。

2. 健康管理の徹底について

皆さんのような若い方たちは、たとえ新型コロナウイルスに感染していても、それと意思当たる症状が出ないか、ほとんど症状のない場合が多いのです。自覚症状がなくてもウイルスを出し続けている人たちがおり、これが感染拡大の主要な要因を占めています。何の症状もなく、「自分はウイルスを持っている可能性がある」と考えて、周りにウイルスを拡げない行動をすることが大切です。

万が一、発熱や喉の痛み、倦怠感などの症状が出た場合は、出来るだけ部屋から出ず、家族と同居している場合は食事も別にとって下さい。

マスクは、自分から周囲に感染を拡げないために使うものです。外出を控え、他人と顔を向ける機会にマスクを正しく装着するのは、相手に対する思いやりだと理解して下さい。

3. 感染防止の行動範囲について

キャンパス閉鎖期間は、「お休み」ではありません。友人と連れだつての旅行や会食、サークルの集会、イベントへの参加、複数の友人と一部屋に集まったのカラオケやゲームは、ウイルスを拡散

させる行為ですですから、厳に慎んで下さい。

もしも感染者が判明すると、その接触者も2週間の健康観察が必要となり、日常生活が制限されてしまいます。自分が感染しないようにするだけでなく、他者を感染させないことを心掛けて、近畿大学の学生として責任を持った行動をしてください。

※近畿大学ホームページ「新型コロナウイルス（COVID-19）への対応について」を必ずご確認ください。